

令和7年度第2回大府市水道事業経営検討委員会 議事録(要点記録)

日 時	令和7年7月4日(金)13時30分～15時20分
場 所	大府市役所 全員協議会室
出席委員	7人(欠席者1人)
傍 聴 者	なし
次 第	1 あいさつ 2 議事 (1) 健全経営維持のための基本的考え方について (2) 水道料金の詳細について【非公開】 (3) 水道料金の動向について【非公開】 (4) 健全経営を維持するための収支シミュレーションについて【非公開】 (5) まとめ【非公開】 3 その他 今後の会議開催スケジュールについて

【議事における主な質疑】

(1) 健全経営維持のための基本的考え方について

- ネーミングライツ・広告収入の対象施設と収入見込みについて
⇒5 施設を対象に検討中で、金額は未定である。
- 有価証券の運用について
⇒令和5年度に5億円分の有価証券を購入した(利率は0.2～0.8%程度)。今後の運用方針は決まっていないが、現金の保有状況に応じて判断する。購入した証券は、地方債であり安全性を重視している。
- 職員数削減と業務影響について
⇒一部を民間委託化して業務には支障はない。ただしノウハウの継承が課題である。
- ウォーターPPP(官民連携)について
⇒現状すぐに導入は考えていないが、国が推進中である。民間による管路維持管理などを含む複数レベルの委託があり、慎重に検討していく。次回の会議で資料を提示する。
- システム共同化での経費削減について
⇒3市(大府・半田・知多)での共同利用により、年間300万円程度の削減見込みである。
- 企業債残高比率の目標について
⇒企業債残高比率は、現状25%で今後の借入を踏まえ100%以下の維持を目標としている。

なお、(2)から(5)については、大府市情報公開条例第7条第5号「市の機関の審議、検討又は協議に関する情報で公にすることにより、率直な意見の交換若しくは意思決定の中立性が不当に損なわれるおそれ、または不当に市民の間に混乱を生じさせるおそれがあるもの」に該当するため、非公開で行った。